

第5号

季刊広報誌

にっせい

… 地域に根ざした親切医療 …

理念

生命の尊厳と人間性の尊重を最も基本的な価値観とし、質の高い医療を提供するため日々研鑽に励み、親切で、信頼される病院として地域社会に貢献することを目指します。

基本方針

病院理念に基づき、皆様から「信頼されて選ばれる」病院となるため、次の事項を基本方針とします。

1. 急性期から慢性期まで、患者様の立場に立ち、真心こめた医療サービスを提供します。
2. 医療人としての自覚を常に持ち、最新の医療技術の維持、研鑽に努め、常に良質な医療を提供します。
3. 患者様の権利と安全を重視し、説明と同意に基づく親切医療に努めます。
4. 地域の皆様の健康、保健の向上に貢献できるよう努めます。
5. 社会常識を尊重し、常に職員の教育、研修に努めます。
6. 健全な医療経営に努め、安全な医療を続けられるよう努めます。
7. 社会医療法人としての自覚を持ち、地域社会に貢献します。

当院では患者様の権利を尊重した医療の提供を心がけています。

1. 基本的な人権と人格を尊重される権利
2. 思いやりのある、良質な医療を公平に受ける権利
3. 適切な情報提供や十分な説明を受ける権利
4. 納得のもとに、検査や治療を受けるか受けないかを決定する権利
5. プライバシーを保護される権利
6. 健康であるために情報を求める権利
7. 他の医師に診断を受け、治療法についての意見(セカンド・オピニオン)を聞く権利

義務

以上の権利を守るため、患者さまは病院職員と力を合わせて医療に参加・協力する義務があります。



新春の挨拶

理事長 河口 義憲 P.2

院長 西 研 P.2

就任のご挨拶

副院長 井上 善之 P.3

クリスマス会 P.3

健康レシピ P.4

平成26年1月7日発行

新春のお慶びを申し上げます



昨年 3月 新築オープンいたしました。

9月 社会医療法人延山会 として認可されました

医療の非営利性を高度に保ち

地域医療の安定化 を目指し

皆様から信頼される病院として地域医療を担います



北極圏で繁殖し、欧亜大陸、北米そして北海道に生息すシロフクロウを社会医療法人延山会ペットシンボルにし十字形のシンボルの中におさめたものです。シロフクロウの様に昼夜、ネズミや害虫をじっと警戒することがとく、北国で人々の健康を守り、病気を管理する意味に託したものです。



社会医療法人 延山会
ENZANKAI SOCIAL MEDICAL CORPORATION

新春のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
今年も皆様にとって良い年であることをお祈り申し上げます。今日本では100歳超えのセンチネリアンがすでに5万人を超えといわれ、まさに未曾有の高齢化社会に入っております。国の推計では50年後には日本人の平均寿命は男性84.19年、女性90.93となり、女性の平均寿命は90年を超えると見込まれています。そして団塊の世代（昭和22年～24年に生まれた人）が75歳以上の後期高齢者になる2025年には、一気に高齢化が加速されると考えられています。健康で日常生活を過ごせる年齢を健康寿命といいますが、高齢化社会では健康寿命を延ばすことが社会的にも大切となります。既に少子化に歯止めがかからず人口は減少へと向かっており、現在4人に一人が高齢者であり、やがて国民の2.5人に一人が高齢者となる時が来ます。50年前には16歳から64歳の国民約10人が一人の高齢者を支えていたのが、やがて1.3人の現役世代がこれを担うこととなります。わが国の基本的構造が変わりつつあり、急性期医療を担う病院の入院機能は、このままでは機能停止する可能性があり、抜本的な改革が急務

理事長 **河口 義憲**



となっています。また医学の発展に伴い、医療も複雑化していて、一昔では想像もつかなかった技術が現実化、一般化してきており、不治と言われた病も治る時代が来つつあります。それでも、複数の難治性の慢性疾患を抱えるご高齢者の特性から、今後は治す医療だけでなく、ささえる医療、予防する医療と介護も更に重要となります。病院ばかりではなく生活の場で高齢者を支える在宅医療の在り方も問われます。延山会は昨年、北海道25番目の社会医療法人の認可を取りました。西成病院は今後も毎日の診療を通して、地域の皆様に少しでも信頼して安心いただける医療を提供してまいります。循環器、糖尿病代謝性疾患、消化器が3本の柱であることには変わりありません。更に医療過疎の僻地医療を今後も続け、超高齢化社会にも柔軟に適応し、北海道の医療に少しでも貢献できるよう職員一丸となり尽力してゆく所存です。今年も変わらず西成病院をよろしくお願い申し上げます。

新春のお慶びを申し上げます。

当院は老朽化した西成病院を新築し昨年3月21日より診療開始しました。患者様の利便性、快適性を重視した作りとなり、病棟も広く明るい雰囲気、落ち着いた治療に専念できる様に配慮しております。当院は内科の病院であり、急性期、亜急性期、慢性期の患者様の診療治療を行っています。特に循環器、呼吸器、糖尿病、消化器は専門医が診察する体制をとっており、診断・治療の向上に邁進しております。更に、リハビリにも力を入れており、3階に専用のリハビリ室を設けております。

この度消化器・糖尿病の専門医であります、井上善之先生を副院長としてお迎えし入職されました。消化器内科の充実に貢献してもらえものと期待しております。今後更に医師の充実を図り、地域住民の皆様に信頼される病院として鋭意努力していく所存であります。

昨年の一般病棟入院延べ患者数は2万人を越え病棟稼働率も95%と高い水準となっております。理事長も書いていますように当院は北海道の医療に貢献すべく医師の僻地派遣も昨年より開始しております。少ない医師の中での僻地派遣は病院としても大変ではあ

西成病院

病院長 **西 研**



りますが、当院の使命として今後も継続していく予定で有ります。

地域住民の皆様の健康管理、維持のお役にたてるようにと新たに地域健康講座という講演会を企画しました。年数回開催する予定で、現在までに2回院内で行っております。主に当院に勤務しているスタッフが講師となり、皆様に理解し易い内容で話をしてもらっています。高齢化社会となった日本では、老いても尚健康を維持するということが求められており、予防医学の観点から、健診、人間ドックにも力を入れ、検査項目も更に検討し、疾患の早期発見に努めて行きたいと考えております。本年も診療内容の充実を図っていく所存ですので宜しくよろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶

副院長 (消化器内科)

井上善之



平成25年12月より西成病院の副院長に就任いたしました井上善之と申します。消化器内科を専門としております。

「消化器内科」といってしましても、胃・腸・肝臓・膵臓・胆嚢、胆管など診療の分野は多岐にわたります。私は胃や腸の内視鏡検査・治療を専門としております。当院へ着任する前までの10年間、糖尿病を中心に内科一般についても携わっておりました。医療には経験も必要ですが、日々進歩する医学に追従できるよう研鑽を積み重ねる事も大切であると思っております。

また、「良い医療」には医師と患者である皆様との信頼関係が欠かせません。いかに皆様の信頼を得ることができるか、診療を受けられる皆様の立場に立てるように、「心」も鍛えていきたいと考えております。

心技一体、充実した医師として勤めていけるよう、当院のスタッフの協力を得ながら努力して参ります。どうか宜しくお願い申し上げます。

クリスマス・イベント ～一般/療養 病棟



一般病棟では「サンタからのお・も・て・な・し」としてサンタとトナカイに仮装した職員が入院中の皆様にプレゼントをお贈りました。

療養病棟では「クリスマス会」が開かれ、恒例のにつせい管弦楽団による演奏と今年は何とカーペンターズ（職員の仮装）が熱唱し、療養中の皆様とそのご家族に楽しんでいただけたと思います。



第3回ヒヤリハット標語大賞

『落ち着いて 忙しいほど 確実に』

12月27日 年末恒例のヒヤリハット標語大賞が決定しました。毎年リスクマネジメント委員会が主催し、各部署から出展された標語に職員が投票し、年末「仕事納め」の時に発表されます。

今回は生理検査室より出展された標語が一番多く票を集め、大賞を受賞しました。

これからも職員一同医療事故防止に努めます



西院長

年頭のあいさつ ～ 仕事始め



ユッキーの健康レシピ

今年も素敵なししぴをご紹介します！



油淋鶏



- ＊材料＊ 4人分
- ・鶏もも肉 2枚
 - ・塩 小さじ1/2杯・コショウ 少々
 - ・片栗粉・揚げ油 適量
 - ・レタス 適量
 - ＜香味ソース＞
 - ・長ねぎみじん切 大さじ2杯
 - ・生姜みじん切 小さじ1杯
 - ・にんにくみじん切 小さじ1杯
 - ・醤油・酢・砂糖・水 各大さじ2杯
 - ・ごま油 大さじ1杯



1人分 376Kcal 塩分 2.2g

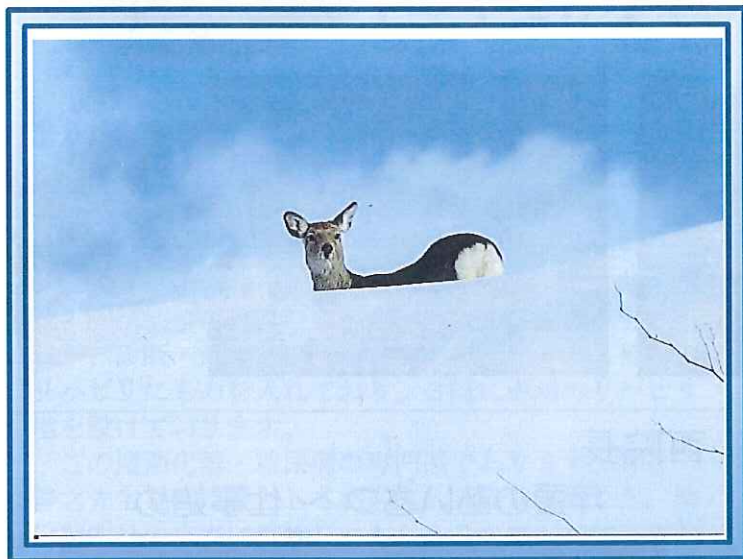


＊作り方＊

- 1・鶏もも肉は塩コショウをふり下味をつける
- 2・レタスは洗って食べやすい大きさに切る
- 3・ボウルに香味ソースの材料を混ぜ合わせる
- 4・1の鶏肉に片栗粉をまぶし、フライパン1cm位の油を熱し皮目を下にして入れる。
- 5・3の鶏肉の皮面がきつね色になったら返して10分位揚げて中まで火を通す
- 6・鶏肉を食べやすい大きさに切り、2のレタスと一緒に盛り香味ソースをかけて出来上がり♪

延山会 西成病院 栄養科 2014.1

Photo フレーム



エゾシカ ～ 斜里にて

＜西 院長 撮影＞

西成病院 糖尿病センター 糖尿病教室のご案内

延寿、学んでほしいこと。

！病室のステージ（設備）
「アルブミン」家ちゃんばく
（そのステージによって対象が異なる）



32	平成26年 1月15日	動脈硬化をふせぐ	吉田昌弘（医師）
33	平成26年 2月19日	糖尿病を悪化させない為脂肪と戦う	柄沢千代子（看護師）
34	平成26年 3月19日	内視鏡のススメ	津高実佳子（看護師）

※どの回から参加いただいても結構です。

編集後記

この時期は毎日の降雪と積雪量が気になるころです。
手稲区の観測点はどこでしょう？ 調べてみました。
『曙5条5丁目 手稲区土木センター』との事です。以外
と近隣にありました。雪かきは無理のないように！

（事務 富田 樹）

企画・編集 / 社会医療法人延山会 西成病院

発行日 / 平成26年1月7日

札幌市手稲区曙2条2丁目2番27号

tel 011-681-9321 fax 011-681-9250

ホームページ <http://www.nissei-hp.com/>